



私が過ごした一日は、
信長の最後の一日だった。

本能寺ホテル ロケ地 散策マップ

ロケ地をめぐって、あなたも時空を飛び越え
信長に出会えるかも！？

法華宗大本山 本能寺



総門

本堂

法華宗本門流大本山で、
応永 22 (1415) 年に日隆聖人によって
創建された寺院。
現在の本能寺は、本能寺の変後、豊臣秀
吉の都市計画により、天正 17 年 (1589)、
現在の地に移転し再建したもの。江戸時
代後期に天明・元治の大火にかかり、堂
宇は悉く焼失し、現在の本堂は昭和 3 年
(1928) に再建されたものである。

アクセス 地下鉄「京都市役所前」駅すぐ / 市バス「河原町三条」すぐ

本能寺の変：
天正 10 年 (1582) 6 月 2 日、備中高松城包囲中の羽柴秀吉を救援する途中
に本能寺に宿泊していた織田信長を家臣の明智光秀が謀反を起こして襲撃。
織田信長は明智光秀の謀反によって本能寺で自刃し、天下統一を目前にして
49 歳の生涯を閉じた。

本能寺跡 (石碑)



旧本能寺跡を示す石碑

新たに建てられた石碑

実際に本能寺の変が起きた場所は、現
在、本能寺がある“京都市中京区寺町御
池下”ではなく、南西方向“蛸薬師通
油小路東入る”にあり、現在は本能寺跡
を示す石碑が建てられている。当時の本
能寺は敷地も広く、30 余りの坊があつ
たと云われているが、今はどこからどこ
までがその敷地だったのかも判らない。
本能寺の石碑も従来のものに加え、新
たな石碑が建てられている。

アクセス 市バス「四条堀川」「堀川蛸薬師」徒歩 3 分



今や映画やドラマの撮影には欠かせない
ボランティア・エキストラさんたちが本作品でも大活躍！！



京都市では「ボランティア・エキストラ登録制度」(メルマガ配信)を実施しております。
ぜひ皆様もご登録いただき、京都市内での撮影に参加し、色んな時代の物語や世界観を
体験してみてください！

登録は京都市メディア支援センター HP から▶



ロケ地巡りの際は、市バス・地下鉄など
公共機関をご利用下さい。

発行：京都市産業観光局観光 MICE 推進室・京都市メディア支援センター
〒604-8005 京都市中京区河原町三条上る恵比須町 427 番地 京都朝日会館 3 階
TEL : 075-229-6601・6602 FAX:075-213-2021
Mail:media-support@city.kyoto.lg.jp HP : http://kanko.city.kyoto.lg.jp/support/



京都
CITY OF KYOTO



この印刷物が不要になれば
「雑がみ」として古紙回収等へ！

京都市印刷物：第 284883 号 平成 29 年 1 月

日本史上最大の謎「本能寺の変」に迫る歴史エンターテインメント！

本能寺ホテル ロケ地 散策マップ



① 東福寺

市バス「東福寺」
JR奈良線・京阪本線「東福寺」駅徒歩 10分

蘭丸が蘭子と出会い、胃薬をもらうシーンや蘭子がエレベータから出たところのシーンなどを撮影。東福寺は1236年より19年を費やして完成。現存する禅寺の三門（三つの門を連ねて一つの門としている）としては日本最古で国宝に指定されているほか、紅葉の名所として有名な通天橋がある。



② 随心院

地下鉄「小野」駅徒歩 5分

京都を中心いて、滋賀、兵庫などでロケ撮影し、戦国時代の風景や当時の本能寺をよみがえらせている「本能寺ホテル」。

梅が美しいことで有名な、小野小町ゆかりの寺院。本能寺に見立てて撮影されることが多い。本能寺の表の設定で、信長と蘭丸が甲冑を身に着け、本能寺に到着するシーンや明智軍が攻めるシーンでは多くのエキストラを入れて撮影。



③ 妙心寺

市バス「妙心寺」「妙心寺北門前」徒歩 5分

京都市民から西の御所と呼ばれ親しまれている日本最大の禅寺、臨済宗妙心寺派本山の寺院。信長に追いつめられる蘭子や、蘭子と蘭丸が向かい合う食堂のシーンを撮影。



④ 仁和寺

市バス「御室仁和寺」すぐ

旧御室御所とも呼ばれる世界遺産の寺院。日本さくら名所100選に選ばれており市内でも遊覧きの御室桜が有名。仁和寺の五重塔を背景に、信長が本能寺へ向かう行軍のシーンなどを撮影。



⑤ 神護寺

市バス「高雄」徒歩 20分

京都の高雄にある寺院。石段に蘭子と信長が座って話すシーンを、当時の街角の風景を美術部が作り出して撮影。子供たち含め60名のエキストラが参加。



⑥ 涉成園（東本願寺）

市バス「太秦広隆寺前」「太秦映画村道」徒歩 5分
地下鉄「五条」駅徒歩 7分
市バス「烏丸七条」徒歩 5分

庭園が美しい東本願寺の飛地境内地。恭一の父の店である、料亭よし岡のシーンを撮影。※見学は庭園のみ。



⑦ 下鴨神社（紅の森）

市バス「下鴨神社前」「紅ノ森前」すぐ
京阪「出町柳」駅徒歩 12分

世界遺産・下鴨神社の境内にある原生林。木漏れ日の中、信長が本能寺に向かうシーンと、蘭子が本能寺ホテルに向かう道のシーンを撮影。



⑧ 今宮神社

市バス「今宮神社前」すぐ
「船岡山」徒歩 7分

蘭子が恭一の友人と出会い、あぶり餅を渡されるシーンを撮影。あぶり餅は参拝者への厄除けとしてふるったことが起源と言われ。東門の門前には二軒のあぶり餅屋さんがおり、本作では二軒とも撮影に協力頂いた。



⑨ 鴨川

(三条大橋) 地下鉄「三条京阪」すぐ

京都の中心を流れる川。河川敷にカッパーが等間隔で座ることで知られる。恭一と電話で話すシーンやラストシーンのすがすがしい表情で川を眺める蘭子の隣に信長が腰を下ろすシーンを撮影。



⑩ 京都市市民活動総合センター（ひと・まち交流館京都2階）

市バス「河原町正面」すぐ

蘭子の会社が倒産し、求職中ハローワークに訪れるシーンを撮影。



⑪ 東映太秦映画村

市バス「太秦広隆寺前」「太秦映画村道」徒歩 5分
京都バス「太秦映画村前」すぐ
JR 蔵前線「嵯峨嵐山」駅徒歩 10分
阪急「嵐山」駅徒歩 5分

蘭子が宿泊することになる本能寺ホテル表のセットを建てて撮影。映画村の時代劇オープントンセットにコンクリートを敷き詰め、現代の京都の町家を再現。映画村に隣接する東映京都撮影所では、本能寺の信長の部屋や、本能寺ホテルのロビー、エレベーター、バーのセットを制作して撮影。

※現在、撮影時のセットはございません。



⑯ 渡月橋

市バス「嵐山」すぐ、「嵐山天龍寺前」徒歩 3分
JR 蔵前線「嵯峨嵐山」駅徒歩 10分
阪急「嵐山」駅徒歩 5分

市内でも人気の観光名所・嵐山を代表する嵯峨に架かる橋。恭一がジュエリーショップから出て歩くシーンを撮影。



⑯ 八坂の塔前

市バス「東山安井」徒歩 3分

正式名称は法觀寺。重要文化財に指定されている五重塔は高さ 46 メートル。蘭子が本能寺ホテルに向かうシーンの背景に写っているように八坂通りは観光客にも人気のスポットとなっている。



⑯ ねねの道

市バス「東山安井」徒歩 3分

高台寺塔頭圓徳院の麓にあり、秀吉の死後、この地に移り住んだ秀吉の妻・ねねが歩いたとされる道。平成 10 年に石畳の道となつた。冒頭シーンで蘭子が金平糖屋さんを見つけるシーンを撮影。



⑯ 先斗町

地下鉄「三条京阪」徒歩 3 分
京阪「祇園四条」「三条」徒歩 3 分
阪急「河原町」徒歩 3 分

鴨川と木屋町通りの間にある花街。「京都観光のチラシ」で蘭子が渡されるシーンを撮影。そのチラシは蘭子を通じて、信長に渡ることになる。

